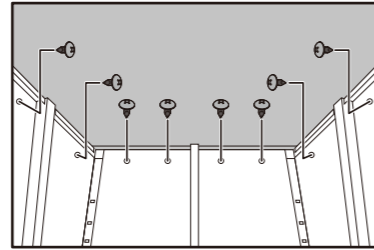
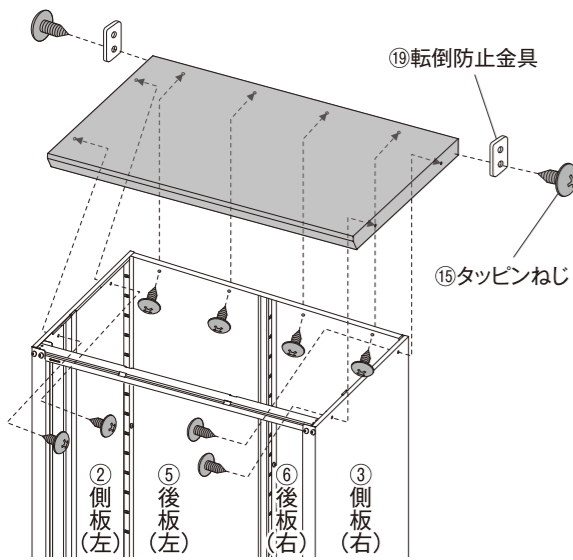




## 4 天板の組付け

【内側から見た図】



1

⑦天板を上からかぶせて、⑬転倒防止金具を⑮タッピンねじで仮締めする。(2カ所)

2

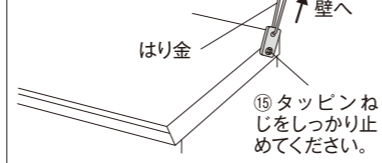
本体内側から⑭薄板用タッピンねじで左から順に仮締めする(8カ所)

お願い

転倒防止の為、転倒防止金具は必ず取り付けてください。

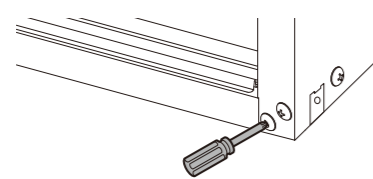
転倒防止金具の取付けがされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故や物的損害を招くおそれがあります。

【設置方法】



設置の際は、はり金を⑬転倒防止金具に通してから壁などに接続し、仮締めした⑮タッピンねじをしっかりと止め、固定してください。(2カ所)  
はり金は最寄りのホームセンターなどでお買い求めください。

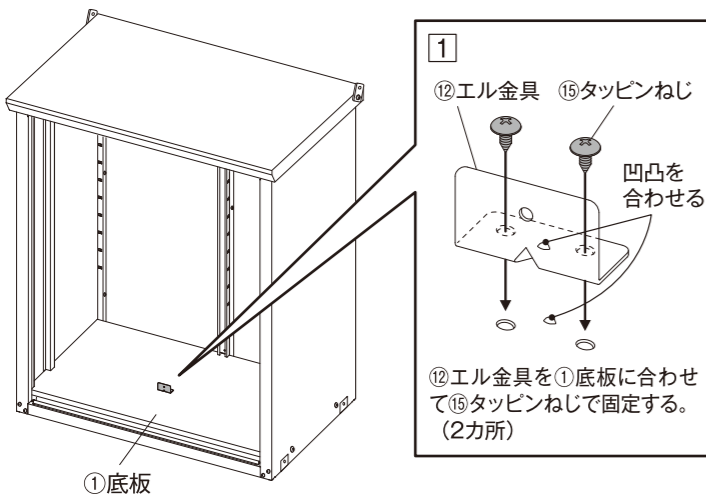
## 5 本締め



仮締めした全ての⑭薄板用タッピンねじを全体のバランスをみて本締めをしてください。

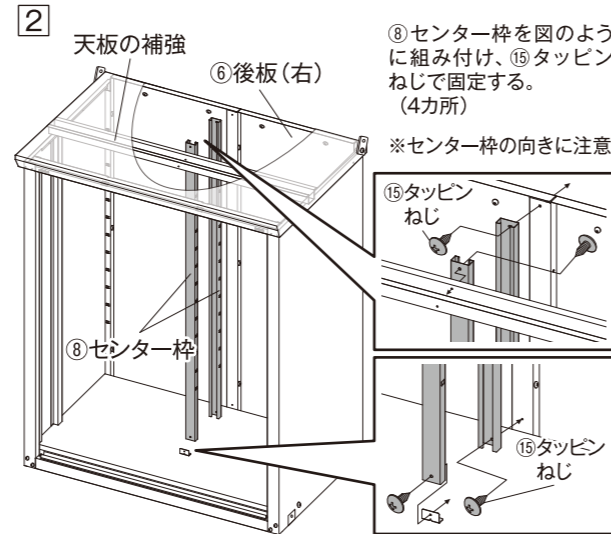
注) ●本体がゆがんだままで組み付けると扉の開閉時に不具合が出る場合があります。  
●ねじを締めすぎるとねじ破損の原因となります。

## 6 センター枠の組付け (SRM-0915を除く)



1

⑫エル金具 ⑮タッピンねじ  
⑫エル金具を①底板に合わせて⑮タッピンねじで固定する。(2カ所)

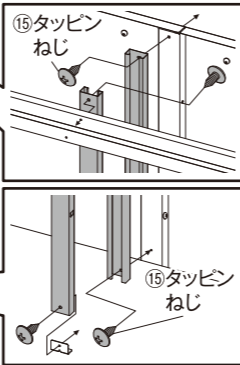


2

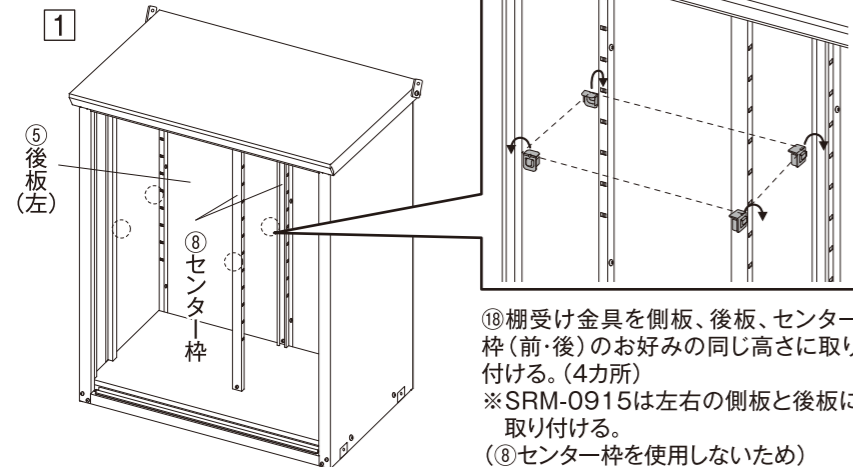
天板の補強

⑧センター枠を図のように組み付け、⑮タッピンねじで固定する。(4カ所)

※センター枠の向きに注意

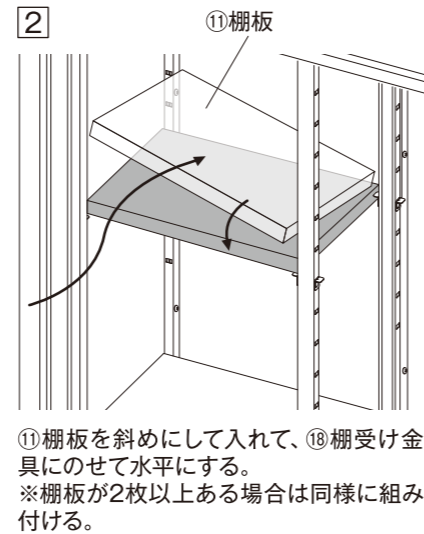


## 7 棚板の取付け



1

⑬棚受け金具を側板、後板、センター枠(前・後)のお好みの同じ高さに取り付ける。(4カ所)  
※SRM-0915は左右の側板と後板に取り付ける。  
(⑧センター枠を使用しないため)

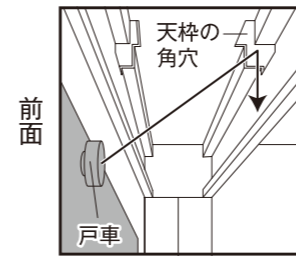


2

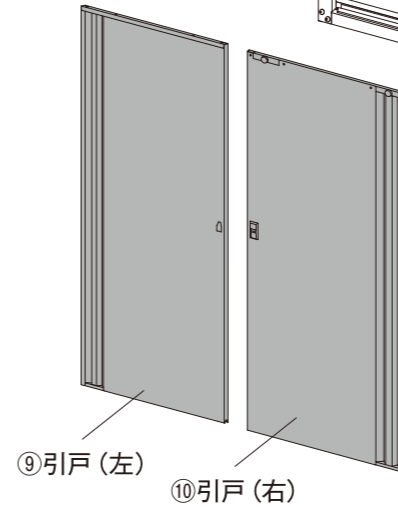
⑪棚板を斜めに立て入れて、⑬棚受け金具にのせて水平にする。  
※棚板が2枚以上ある場合は同様に組み付ける。

## 8 引戸の組付け

【天枠裏側の図】



前面

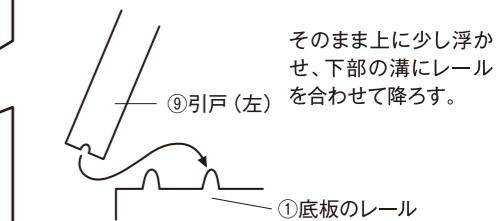


1 【横から見た図】



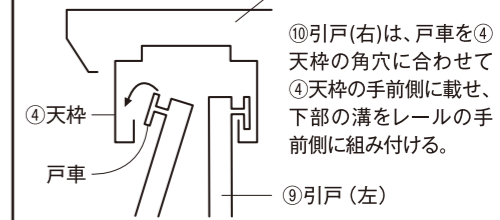
⑨引戸(左)の戸車を④天枠の角穴の位置に合わせて上に寄せながら戸車を④天枠に載せる。

2 【横から見た図】

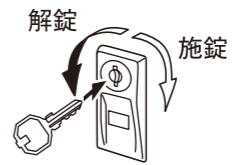


そのまま上に少し浮かせ、下部の溝にレールを合わせて降ろす。

3 【横から見た図】



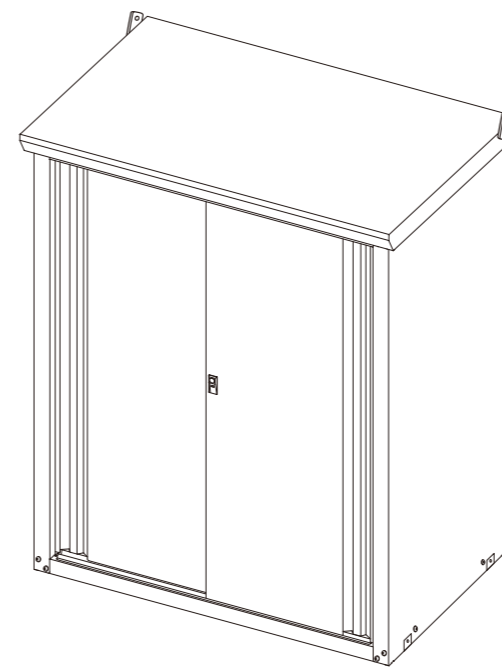
⑩引戸(右)は、戸車を④天枠の角穴に合わせて④天枠の手前側に載せ、下部の溝をレールの手前側に組み付ける。



●引戸をきちんと閉めた事を確認してから施錠してください。(きちんと閉めていないと施錠できません)  
●この鍵は半回転(180°)させると施錠・解錠が出来ます。  
●最後に施錠・解錠の確認をしてください。

## 完成図

※イラストは、SRM-1215タイプです。



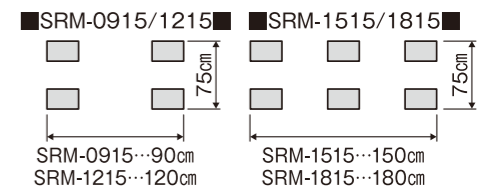
引戸と側板の間に隙間がある場合は、

・底板の水平が取れていないために、物置がねじれる原因と予測されます。  
→物置が水平になるよう調整してください。  
・水平にしてまだ隙間がある場合は、物置本体がゆがんだ状態で組み付けられたと予測されます。  
→本体ねじを緩めてゆがみを直し、もう一度ねじを締めてください。

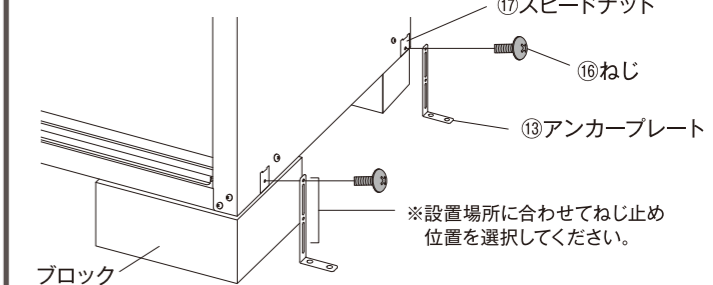
## 【設置方法】

### 1 ブロックの設置

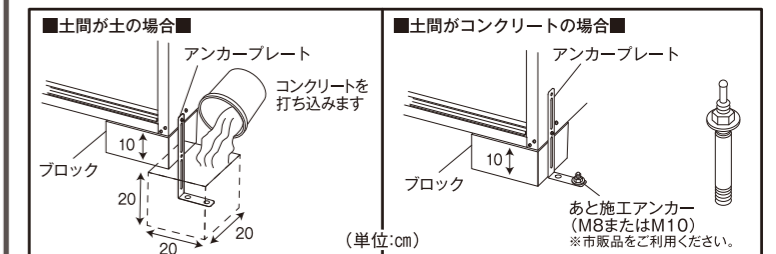
平らでない地面に設置する場合は、ブロックなどを四隅に高さ揃えて置いてから本体を設置してください。  
また、舗装された場所に設置する際もブロックなどで底上げて風通しを良くすると底板部のさびを防げます。  
ブロックは最寄りのホームセンターなどでお買い求めください。



### 2 アンカープレートの取付け



※設置場所に合わせてねじ止め位置を選択してください。



※アンカーの取り付けが困難な場合は専門業者にご相談ください。